

山の鼓動

を感じる



崩壊地を歩き、植生を知り、川の流を感じ、自然と人々の関わりを実体験することによって、そこに住む人々の生活を知ります。また、災害体験談等を通じて土砂災害の危険性を学びます。

まちづくり

を考える



地域の方々の講話や観光業体験、地域イベント等に参加し、まちおこしについて考えます。

土砂災害

にふれる



過去に起こった災害現場視察や砂防工事の実習を行い、日頃机上では学べない現場作業などを学びます。



モノ

を作る



農業体験や林業体験、機織りや木材加工など、地場産業や地域文化の体験を通じて中山間地域の現状を学びます。



キャンプ砂防とは

我が国は、急峻な地形、脆弱な地質等により土砂災害を受けやすい自然条件下にあります。さらに、近年中山間地域では、過疎化、高齢化に伴い森林管理の衰退や耕作放棄地の増加などにより荒廃が進んでおり、土砂災害の発生等大きな社会問題となっております。一方、このような中山間地域においては、活力ある地域づくりのために各地域の個性を活かした様々な取り組みがなされています。

このような中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考えることを目的として、平成8年度より「キャンプ砂防」が実施されています。

◆キャンプ砂防運営委員会 / 【事務局】国土交通省砂防部砂防計画課
〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 (代表) FAX 03-5253-1610

◆キャンプ砂防推進協議会 / 【運営担当】NPO法人砂 土砂災害防止広報センター
〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲 4-11 TEL 03-5614-1114 (代表) FAX 03-5614-1109

<http://www.sabopc.or.jp/camp-sabo2020/>



『キャンプ砂防』参加者の声

今回、初めてキャンプ砂防に参加して、今まで写真でしか見てこなかった現場や堰堤を見ることができました。素直な感想としては、規模が大きい!と思いました。それは、つまり国土交通省の事業の大きさを表していて、改めていろんな現場で関わっているのだと思いました。災害の現場や工事を見るだけでなく、市民の方のお話を聞いたり、最新技術をご紹介いただきたりして、より砂防事業に興味をもつことができました。ぜひ友人や後輩にもキャンプ砂防を勧めたいと思います。

(九州大学 3年・女性)

近年は観測史上初の大雨などがたくさん発生していて砂防堰堤の重要性も高まっているのではないかと感じた。過去に作った砂防堰堤が今も現役で使われており、これからも使われていくことを考えると、将来の日本を形作り守っていく仕事であると思い、とても格好いいと思った。本研修を通して、一番感じたのは国土交通省の職員として働くことの格好良さです。実際に現場を見たり、話を聞いたりしたことで普段は見たり知ることができない公務員としての格好良さ、魅力をひしひしと感じました。

(静岡大学 3年・女性)

座学と実習を通じてある程度は砂防に関する知見を深めていたが、堰堤の工事現場で行われている作業や現在の土木技術、安全対策、コンクリートの規格など、初めて知ることだらけであった。発注者である国土交通省と受注者である企業との間での工事の進行方法を見られたことも良かった。建設以外にもメンテナンスの現場を知る良い機会であった。大学の講義や教科書には堰堤の建設に関する内容ばかりが述べられており、今後重要となる維持管理に関する知識が欠如していたので本当に良かった。

(東京農工大学 3年・男性)